

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2022 -76	2022/5/27	Will 'Top Gun: Maverick' Boost Navy Recruiting? History Says Probably Not	映画「トップガン:マーベリック」は海軍の募集を増やすか？過去の例では多分ノーだ	USNI News 2022/5/27	 映画「トップガン:マーベリック」は海軍の募集にプラスとなるという意見と、そうでないという意見があります。昔の募集用ビデオ(30秒)とリアル・トップガンのビデオ(8分)も参考。	岩崎洋一
2022 -77	2022/6/1	Former Carrier Kitty Hawk Arrives in Brownsville for Scrapping	旧空母「キティホーク」がスクラップのためテキサス州ブラウンズビルに到着	USNI News 2022/6/1	 横須賀配備もされていた「キティホーク」が解体されます。解体業者への売却価格は1セントということです。YouTube 動画のビデオ付き。	岩崎洋一
2022 -78	2022/5/24	Investigation: USS Connecticut South China Sea Grounding Result of Lax Oversight, Poor Planning	事故調査結果:東シナ海における原潜「コネチカット」の座礁事故は、ずさんな当直と拙劣な計画によるものだった	USNI News 2022/5/24	 2021.10.2に生じたシーウルフ級原潜「コネチカット」の南シナ海での座礁事故の原因は、「艦長キャメロン・アルジラーニ中佐によるムラのある監督(uneven oversight)と劣った指揮統率 風土 poor commandclimate」によるものが原因としています。	岩崎洋一
2022 -79	2022/5/18	Cruiser USS Vicksburg Nearly Finished with Modernization Program, Set For Decommissioning	巡洋艦「ヴィックスバーグ」は近代化改修をほぼ終了したが除籍される予定	USNI News 2022/5/18	 米海軍は、実戦で使えないと判断した艦を優先して退役させようとしています。老朽化したタイコンデロガ級巡洋艦とフリーダム級LCSです。巡洋艦の中には、この記事のように、近代化改修工事に5億ドルかけた艦も除籍させるということです。	岩崎洋一
2022 -80	2022/6/1	U.S. And South Korean Cooperation On Nuclear Technology Positive Sign For K-SSN	米国と韓国による原子力技術の協力は韓国製SSNへの積極的なサインである	Naval News 2022/6/1	 韓国で原子力潜水艦を開発するのではないかと憶測が深まっています。日本が新たな艦種を建造するとすぐにまねをしたがる韓国が、日本が保有しない原潜を保有する意欲を示すのは珍しいですが、その代わりに軽空母開発計画を破棄するのではないかと憶測も。果たして韓国に原潜を開発保有する能力と財力はあるのでしょうか。	佐々木司
2022 -81	2016/4/1	Out of the Jaws of Victory	栄光からの退場	Naval History Magazine 2016/4/1	 ミッドウェー海戦の勝利に偉大な貢献をしたとして米国民から絶賛された英雄の裏の話です。海軍歴史マガジン2016年4月号から。	岩崎洋一
2022 -82	2022/5/23	Towed array sonar integrated with Royal Navy experimental autonomous submarine	英海軍の実験的自律型潜水艦と統合された曳航アレインソナー	NAVY LOOKOUT 2022/5/23	 英海軍は、大型UUVの開発を加速させています。関連記事を見てきましたが、徐々にですが、UUVに対して、潜水艦機能を相当な範囲で補完できる機能・性能の確立を目指しているようです。今回の記事では、曳航アレインソナーの試験に成功したことが主題ですが、UUVの電源についての示唆が含まれています。本記事では、ボーイング社のUUVの電源に触れていますが、電池だけのシステムの電力的な限界を認識しているようです。ボーイング社も当初、電池だけのシステムを試作していましたが、最新機はディーゼル発電機を搭載しています。これは、航続力の確保や増加する電力所要を考慮すると、必然的な解答かもしれません。武器使用の直前に用いるアクティブソナーには、大電力が必要なことも述べられています。また、課題である各種通信にも、相応な電力が必要でありましょう。このように、英国もボーイング社や米海軍の至った判断に注目しているようです。UUVの低い通信能力を補完する、データ中継専用の「データノード」UUVの発想も示されており、UUVの用途・役割分担の細分化が進展しそうです。UUVでは、ファミリー全体で機能する発想が必要になってくるかもしれません。	本山泰之
2022 -83	2012/5/1	Mitscher and the Mystery of Midway	ミッチャーとミッドウェーの謎	Naval History Magazine 2012/5/1	 ミッドウェー海戦から80周年、当時の知られざるミステリーです。歴史にイフは無いと言いますが、もし、ミッチャーの思い込みや功名心がなければ……歴史は変わっていたかも……。10年前の海軍歴史マガジン2012年5月号から。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2022 -84	2022/6/3	China delays launch of Type 003 aircraft carrier for unknown reason - are technical problems at fault?	Type003型空母の進水が理由不明で遅延 - 故障による技術的問題か	South China Morning Post 2022/6/3	 2022.6.3に進水するとのメディアの予想に反し、中国のType003空母はいまだにドック内のままです。何か問題があって延期されたのか、またはドック内で装工事を継続していくのか、いずれにしても艦の状態はいつでも進水できる段階にあるようです。衛星写真を見る限り、式典の準備が全くなされていないので進水式は当分先かもしれません。	佐々木司
2022 -85	2022/6/1	The movie Top Gun: Maverick was just released. What were the best and worst aspects of the original Top Gun?	映画『トップガン・マーヴェリック』が公開されましたが、第一作の『トップガン』のベストとワーストの場面はどこでしたか？	Proceedings 2022/6/1	 プロシーディングス誌で恒例の Q&A コーナーです。6月号から。	岩崎洋一
2022 -86	2022/5/31	Time to start operationalizing wearable technology in the DoD	国防総省においてウェアラブル技術の運用を開始する時期がきた	Breaking Defense 2022/5/31	 米軍もウェアラブル技術に注目し、色々な活用方法を模索しているようです。	清水隆
2022 -87	2022/6/2	The Air Force's next-gen fighter has moved into a critical new phase	空軍の次世代戦闘機は、重要な新フェーズに移行した	Defense News Air 2022/6/2	 米国の戦闘機開発は常に先を進んでいます。F 22 の後継として第 6 世代を 2030 年代に配備予定です。	岩崎洋一
2022 -88	2022/4/25	Navy Puts Forth 9-ship Multi-Year Deal for Arleigh Burke Destroyers	海軍は4回目のアーレイ・バーク級駆逐艦 9 隻のマルチヤー契約を行う	USNI News 2022/4/25	 2023~2027 年度の 5 年間で DDG 51 フライト III 型を 9 10 隻分、複数年調達契約を行うという記事です。	岩崎洋一
2022 -89	2022/6/6	Getting boats to sea - efforts to improve Royal Navy submarine availability	潜水艦を海へ - 英海軍の潜水艦の稼働率を向上させる取り組み	NAVY LOOKOUT 2022/6/6	 英海軍のSSBNの稼働状況などの現状は、依然厳しいものがあるようです。ただ、その原因は、本記事では明快に記されています。それは、建造空白の期間による、多方面に亘る能力の低下と、艦齢延伸による修理期間・コストの増大が、主要要因のようです。昨年発表された豪州原潜に関するAUKUS協定の決定で、英国の原潜業界は、色めき立っているかと思いますが、人材獲得や育成、インフラ拡充などは一朝一夕ではいかないのだと思います。また、本記事から、原潜の原子炉交換にかかる費用や期間は、約500億円、工期3年以上の規模であると推定できます。国際情勢が厳しさを増すなか、英国にとって重要な戦略原潜への取り組みは、他山の石とも言える、示唆に富んでいます。	本山泰之
2022 -90	2022/6/3	Deep Fakes and National Security	ディープフェイクと国家安全保障	Congressional Research Service 2022/6/3	 米議会調査局 (CRS) からディープフェイクに関する報告1件です。	岩崎洋一

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2022 -91	2022/3/31	German engine technology found in Chinese warships —reportほか	中国の軍艦に見られるドイツのエンジン技術—報告 ほか	Report News DW 2021/7/11 ほか2編	  <p>中国海軍向けドイツ製機関とデュアルユースに関する、興味深い時系列の記事3編です。かつて膠州湾租借地などを保有したドイツは、伝統的に中国との深い繋がりが感じられます。軍事面でも、「鎮遠」、「定遠」の昔から然り、支那事変の折、日本陸軍は、蒋介石軍のドイツ製武器に、大変苦しめられています。今日でも中国海軍艦艇に、多数のドイツ製機関が搭載されていることは、余り知られていないことかと思えます。その大半がデュアルユース扱い、用途不問で約30年間継続して輸出されていたと思われます。現代版の中独合作というべきですが、今般、中国潜水艦のタイへの輸出にて、軍用用途が公然となり、ドイツ、EUは判断(輸出管理)せざるを得ないことになりました。ウクライナ戦争なども考慮すると、この事態が好転する要素は少ないでしょう。ドイツ製船用機関は、設計、工作精度、投入技術などの面から群を抜いており、世界でも最優秀の艦船用機関と言えるでしょう。それは、翻りますと、非常に製造が難しい、精巧な部品群で構成されていることを意味しています。精密機器の安定的な性能発揮は、その構成部品の安定供給が深く関わることは、論を俟たないことです。また、如何なる組織にも、アキレス腱というべき弱点が一つや二つあることも念頭に置くべきと考えます。本紹介事例は、安全保障はもちろん、輸出管理、経済安全保障を考えるうえでも、格好の勉強材料と言えましょう。引き続き、注目していきたいテーマです。</p>	本山泰之
2022 -92	2022/6/17	China Launches First Aircraft Carrier Which Rivals U.S. Navy's	中国が米海軍に張り合う最初の空母を進水させた	Naval News 2022/6/17	 <p>中国が3隻目の空母「福建」を進水させました。これまでの2隻とは異なり中国独自の設計による大型空母です。スキージャンプではなく米空母Ford級と同じ電磁カタパルトを装備しています。米国でも苦勞して実用化した電磁カタパルトの技術をどこで取得したのか気になります。最近遼寧はよくニュースで見かけますが、山東は何をしているのでしょうか。</p>	佐々木司
2022 -93	2022/6/1	DOD Is Working to Address Industrial Base Challenges, but Limited Industrial Base Assessments Potentially Hinder Insight	国防総省は産業基盤課題に取り組んでいるが、限定された産業基盤評価のため実態を見抜けない可能性がある	GAO Report to Congressional Committees 2022/6	GAO(会計検査院)2022年兵器システム年次議会報告の中で、米国防総省の防衛産業基盤課題に対する取り組みについて監査報告されている。日本でも防衛産業基盤の問題が顕在化しているが、この報告から米国防省の対応状況について垣間見ることができる。基盤の脆弱性分類が興味深い。	清水隆
2022 -94	2022/6/1	Disputing Chinese Sea Control Through Offensive Sea Mining	攻勢機雷で中国の制海権に対抗する	Proceedings 2022/6/1	 <p>対中国の戦争計画で、主要港湾を攻勢機雷で封鎖しようとする戦略です。最後に読者コメントも紹介します。いろいろと否定的、反戦的な意見もあります。UUV型自走式機雷の開発と、水上艦船からの遠隔発射・敷設がキーになるかもしれません。プロシーディングス誌6月号から。</p>	岩崎洋一
2022 -95	2022/6/1	When War Erupted Off Virginia Beach	バージニアビーチ沖で戦争が始まった	Naval History Magazine 2022/6/1	 <p>大西洋の戦いでUボートのウルフパックに陰りが見え始めたころ、デーニッツはその戦術を機雷敷設にシフトし始めました。これは1942年に米国東海岸の狭水路に対して行われたUボートによる機雷敷設作戦です。</p>	岩崎洋一